

4)先輩助産師からのメッセージ

「出会う産婦さんと赤ちゃん、そして仲間に感謝した学生の頃…。女性が思うとおり生きられるよう、役に立ちたいという思いは、助産師になってますます強くなっています。(25歳 病院勤務助産師)」

「何歳になっても助産師は勉強、大先輩がみんな努力している姿を見て、私だってまだまだ…。と思う。助産師の世界へようこそ!(44歳 助産師教育機関教員)」

「私たちの頃は、走り回る助産師の後ろ姿を見て育った。貧乏でもお金持ちでも、皆同じように接する助産師。お産が始まれば助産師は産婦さんにつきっきり…。お母さんと赤ちゃんは離れない、ああお産ってこれだ、と思った。わかってくれるかな、と祈りをもちながら、若い人を見ている。(83歳 助産所開業)」

あなたが生まれた時、

お母さんよりも早くあなたに触れ、

あなたを受け止めたのは、助産師の手でした。

生まれた時の記録が書かれているあなたの「母子健康手帳」には、

その時の助産師の名前が記されています。

助産師になりたいあなたへ…

あなたが生まれた時そばにいた助産師に、

会いに行ってみませんか？

あなたの夢をきっと応援してくれるでしょう。



写真提供 ひなた助産院

公益社団法人 全国助産師教育協議会

〒111-0054 東京都台東区鳥越2-12-2日本助産師会館3階

電話 03(3866)3017

URL<http://www.zenjomid.org/>

Email: zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp

複製禁止

助産師になる

助産師になって活躍する…未来のあなたのために



助産師は、妊娠、出産、育児、性、
女性の健康を支える医療専門職です。

1) 助産師の仕事

助産師は、妊娠・出産・育児をする女性の専門職…。女性や家族に寄りそい、女性の一生を支え見守る助産師という職業は、日本では古くから女性の仕事として、人々から尊敬されていました。明治時代からは国家資格となり、助産師になるための教育が本格的に始まりました。自律して妊娠中の女性や産婦の診察をし、出産の介助をします。病院で働くことも、自分で「助産所」を開設(開業)することもできます。現在、全国に約3万人の助産師がいます。

2) 世界中ではたらく助産師たち

助産師とは英語でMidwife=with womanといい、女性とともに在る、という意味です。今でも妊娠や出産が原因で亡くなる女性があります。女性や家族が安心して新しい命を迎えられるために、高い能力を備えた助産師の活躍は世界中で期待されているのです。日本で資格をとってから、海外で活躍する助産師も多くいます。WHO(世界保健機関)やJICA(独立行政法人国際協力機構)といった国際機関ではたらく助産師もいます。世界中で活躍できる知識・技術・人間性など助産師としての基本は、助産師教育機関で学びます。



世界助産師連盟の大会(イギリス)に集まった各国の助産師たち

3) 助産師になるには

助産師になるには、看護師免許を得ていることが必須となります。まず看護師になるための勉強をし、さらに1~2年間、助産師教育機関で学ぶ必要があります。

- ①助産課程のある大学院や助産専門職大学院に進学する
- ②大学の助産学専攻科に進学する
- ③助産課程がある大学で選抜試験に合格し単位取得する
- ④助産課程の大学別科に進学する
- ⑤短期大学の助産学専攻科に進学する
- ⑥助産専門学校に進学する



以上の6つのコースから、自分に合う学校を選び、卒業・修了すると、助産師国家試験受験資格が得られます。

授業内容は、助産学、医学、社会学、心理学などがあり充実しています。学生の時から実際に出産の介助をする実習も行い、助産師としての高い専門性を身につけることができます。



現在、助産師国家試験受験資格を取得できる学校はおよそ170校あり、その8割が公益社団法人全国助産師教育協議会の正会員校です(2013年現在)。全国の助産師教育機関である正会員校一覧は、全国助産師教育協議会ホームページで見ることができます。

大学院(助産課程) / 助産専門職大学院

助産学専攻科 / 別科 / 短期大学専攻科

大学(助産課程) または 助産専門学校



看護師国家試験受験資格取得

(大学または看護専門学校)



高校卒業